

※発言をそのまま書き起こしたデータを基に、個人情報に関する部分を削除し、文意が通るように修正を行っています。

グループワーク 3 B班

(総合 F) 3回目のグループワークでは、シールの多い大事な意見を、それぞれの班の意見の中から5つから7つくらい選んでいただきたいと思います。そして、選んだ意見に関して、皆さんがどう思うか、ということを書き書いていただきます。サブファシリテーターの皆さん、よろしくお願いします。

(サブ F) この中で、まずシールが一番多いもの、同じような言葉のものは一緒にして、シールの多いものを下にいくつか選び出します。皆さんで確認したほうがいいですね。

—— 1回目にシールを貼っていないから、分からないと思うのですよ。

(サブ F) 1回目は、意見を書いているじゃないですか。

—— でも、そのときに、シールを貼ることがなかったから。だから、本当にこれが3回やって一番多い意見かどうかは分からない。

(F) 最初に出しているときに、あ、それは私もまったくそうです、という気持ちがあっても、シールを貼っていないわけですね。そのことをおっしゃっているわけですね？

—— そうです。

そうしないと、ここで多いということが意味をなさないのではないのでしょうか。

(サブ F) 今そう思ったなら、貼ったらいいんじゃないですか。

(F) (この方は)2回目にいたグループが違いますから、貼っていませんので。

(サブ F) 自分がどうか、ではなくて、ここのグループに来た人たちが比較的共感する意見がどうだったかということを出すわけです。

—— だから、これから我々も貼るわけでしょう？

(サブ F) まず、シールが多いものを拾い出します。

—— だって、まだ意見を見てシールを貼っていない人がいたとすると、これが多いかどうかは分からないじゃないですか。初めからシールを貼っていればと思うのだけど、これは途中からの意見の集計にしか過ぎないような気がします。

(F) この方法は考え直したほうがいいのかもかもしれませんね。このやり方をするのでしたら、1回目からシールを貼るべきだと。

—— でも、ここまで来たんだから、今日はこのやり方でやりましょうよ。

—— いいですよ。

でも、例えば、何もないからこの意見は無視、ということになるわけですよ？

(サブ F) いや、無視ではないです。

—— でも、だいたい同じようにくじ引きでメンバーを割り振ったのだから、2回目にシールを貼っていないっていうのは、

—— それはAとかCで発表されるじゃないですか。

—— え？ ちょっとよく分からない。もう少し分かりやすく説明してください。

—— だって、ここはB班でしょう。Bの中では発表する人がいるわけだけど、その人が、B班としてはこの意見が一番多かったです、と発表するわけですよ。

(サブ F) グループというか、残った人の中で、ですよ。

—— そう。そうすると、3回目の我々も、これを見たときに、いいと思ったらシールを貼らないと駄目ですよ。そうしないと、2回目の人だけの意見になってしまう。

—— まあ、そう言えるかもしれないのですが、とりあえずくじ引きでだいたい同じようにそれぞれ分かれていたのですから、

(木村) 我々のスタンスとしては、2回目の人たちの考えがどうしてこういう意見分布になったのかも含めて考えていただく、というのが目的です。

(サブ F) 別に多いから、少ないから、ということが目的ではないのです。

(F) でも、「まず多いものを選んでみましょう」という言い方をされたら、私たちとしては、違う意見なのに、という意見が出てしまうということなんですよ。

(木村) 違うなら、シールが多くない意見でも、これはどうしても外せないということでも別途出してもらって、それについて考えてもらっても大丈夫です。

(サブ F) はい。その説明をこれからするのですが。

例えば、シールがついていなくても、この辺りは似ている付箋があつたりするわけです。それはそれで集約されますから、シールが貼っていないから全部無視されるということではないんです。

(F) 分かりました。

(サブ F) 2回目のグループワークで共感のシールを貼っていただきましたので、とりあえずシールの多いものをいくつかまず選んでいただいて、これはどうしても外せないという付箋もありましたら、またそれも選んでいただきますので、それを協働作業でやりましょうか。

(F) これが一番多いですね。「閉鎖的」という意見は2つありますから。市民の方から出された「閉鎖的」と、専門家の方が出された「閉鎖的」がありますね。両方の立場の人が、閉鎖的だと。

—— するどいですね。閉鎖的という意見について、専門家何名、一般の人何名と書くと、面白いと思いますね。

(サブ F) 次に多いのが「利権が多そう」とか、「原子力立地の行政（メリットを受けている）」。これは、一緒にしなくても、「利権が多そう」だけでもよろしいですか？ いかがですか？

(F) お金が絡んでいるということですか。

—— そうでしょうね。お金が動いている。絡んでいる。

(サブ F) シール3つは、「産・官・学の利益団体」もあります。

(F) 同じように、「利益」についてですね。

(サブ F) 「ムラびとになるとお金持ちになる」は少し違いますよね。

—— これはムラびとのことでしょうか。ムラの定義とは違うので。

—— これについては、前のグループでも話したのですが、ムラの定義と、そこに住んでいるムラびとは、同じか違うかという論議がありました。

—— なるほど。利権関係の先ほどの 2 枚は同じことかなと思うのですが、〔お金持ちになる〕は対象が違う気がします。

—— そうすると、こういう意見は違うのですよね。これは原子カムラの人だから。

(F) 人となった時点でそういうふうに分けてしまったら、これもそうなりますね。
ここでは、人も含めてムラなのではないでしょうか。

—— ええ、そういう感じもありますね。

—— 働いていただいている給料も利権なのですかといわれると、私はそれは違うのではないかと思うのです。

ここで言っている利権というのは、交付金だったり、そういう大きいお金のことを言っているような気がするのです。

(サブ F) それで、〔専門家の集まり〕にシールが 3 つあります。あとはシール 3 つのものはないですよね。

それで、シール 2 つの付箋がすごく多いのですよ。

(F) これもシール 3 つですよ。

—— 「原子力で生活している人」というのは、イコール専門家ではないということですね？

—— 違います。それはムラびとということですよ。

(サブ F) 5 つくらい付箋を選び出すのですけれども、あとはどうでしょうか。これは、
というものがあれば。

—— [閉鎖的]。[産・官・学の利益団体]。[専門家の集まり]。[ムラとムラの外との乖
離が大]。

(サブ F) あとは、シール 2 つのものがいくつありますか。

—— プラス要素はないですか？ マイナスだけの集まり？

(F) いや、[マイナスな考え] というのは、また違うと思いますよ。

—— これとこれは一緒にしましょう。

(F) そうしたら、これがシール 3 つになって、これはシール 4 つになりますね。

(サブ F) もう 1 個はどうしますか？ これだ、というものがありましたら。
[政府無責任]。

—— うーん。それはムラの定義とは違うような感じがしますね。

(F) 「鈍感だ」という意見も出たのですが、それはシール貼り終わった後に話が出た
から。

—— このイメージもあるのではないかと思ったのですが。

(サブ F) [原子力発電を推進する側の人たち] ですね。

—— もちろんですよ。

(サブ F) では、この 5 つですね。ファシリテーターの方、もう 1 回説明していただ
けますか。

(F) まず、一番多かった意見が、[外の方からのイメージは閉鎖的]、[閉鎖的]、[ブラ
ックボックスが多い] というような意見です。

2番目が、〔産・官・学の利益団体〕であったり、〔利権が多そう〕ではないか。〔原子力立地の行政（メリットを受けている）〕というご意見。これらを足してみたら、1位と変わらないくらい多いと。

—— 利益団体、利益ムラ、ということですか？

(F) そうですね。利益団体ではないかということです。

3番目に、〔専門家の集まり〕、〔メーカー、学者、行政など〕、〔研究者と技術者〕という意見がありました。

〔ムラとムラの外との乖離が大〕という意見が4番目。

5番目が、〔原子力発電を推進する側の人たち〕と。原子力発電推進派と言われているような人たちのことを指すのではないかという意見です。一応多いという意見でまとめてみたら、この5つになりました。

(サブF) 次の作業をご説明いたします。この5つの意見それぞれに対して、どう思うかということ、専門家の方はブルーの紙に、市民の方はピンクの紙に書いていただきます。いくつ書いていただいても結構です。

—— それぞれにということ、1人が5枚ということですか？

(サブF) 5枚書いていただいてもいいですし、5枚でなくてもいいです。

—— 最大5枚ということですね。

(サブF) それとも、1つの意見に対して思うことが2つあったら、2枚書いていただいても結構です。

縦に使って、横書きをお願いします。この下に貼りますから。

私もこれに同感だと思う、なぜそう思うか、という背景を書いてください。

—— なぜこれにこう思うかということですか？

—— 自分の意見を述べればよいということじゃないですか。

(サブF) そうです。

—— それについて賛成の場合、ということですか？

(サブ F) そうですね。そう思うことに対して、意見を書いてください。

—— 自分もそう思う、ということについてですよね？

(サブ F) はい。この 5 つが、全然私はこう思わない、という場合は書けないですよ。でも、同感な意見に対しては、なぜそう思うか。

それで、その紙の空いているところに、①～⑤の番号を書いておいてください。貼るときに分らなくなるといけませんから。何枚書いていただいても結構です。

—— なんか、一気に出されて、私、自分自身では出せないの。

(サブ F) では、皆さんのご意見を聞いてから書いてくださっても結構です。

例えば、①と②が同じ理由でもいいわけです。その場合、2枚書いてください。両方に貼りますから。

皆さんが書き終わったら、読んで、貼っていただきます。

ひらがなでいいですよ。それに、説明していただくので、あまり丁寧に書かなくて結構です。簡単で結構です。

(記入中)

—— 地方の村にいと、戸締りもしないし、雨戸も閉めないじゃないですか。中にいる人同士は、心を許し合うのですよね。だって、誰がいるか分かっているから。よそ者がきたらすぐ分かるし。そういうものが、「ムラ」のイメージかな。どうでしょう？ だから、「ムラ」という言葉自体がそういう特殊なものなのかなと。

—— それがベースになっているのでしょうか。

あと、もうひとつ思うのは、村八分というところからムラが来ている気もするのですよね。村八分にしたいから、ムラと呼ばれている。

—— 村八分ですか。うーん。

—— 村八分にしたいから。あの人たちは村八分にすればいいんだ、みたいな。

(サブ F) 1 回目のときに、そういうキーワードを書かれましたか？

—— いえ、そのときはそういう話にならなかったの、書いていませんが。

—— そういふのはあると思います。原子力って、変な話、競争相手がいない。いつも、皆でやろうぜ、みたいな。業界の中で、そういう風潮があるといえればある気がします。なので、そういう様子を外から見たら、お前たちは何をやっているんだ、仲良しこよしみみたいな感じでずっとやってきたんじゃないのか、みたいに思われることもあるのかもしれない。

—— もうひとつは、中に入れないというやっかみでしょうね。

(F) そうなんですか。やっかみとは考えたこともなかった。

(サブ F) あの、皆さんお待ちしているので。

(F) ああ、すみません。

では、皆さんの意見をいただきます。

(サブ F) はい。それでは、順番に発表をしていただいて、その下に貼りたいと思います。では、まずはファシリテーターさんからいきましょうか。①に対してご意見がありましたら。

(F) 私は、〔閉鎖的〕というワードには同感です。ムラの内側にいる方々は自分たちだけで理解していればよいと考えており、外に正しい発信をしていないような気がします。外から見ても、隠ぺい体質というか、悪い情報は隠して、例えば活断層とかいろいろなことが言われていますよね、ああいうものを出さないで済ませようとしているように見えます。開放感がない不透明な団体だと思います。という意見を私は出させてもらいました。

(サブ F) ①について、他にありましたら。どうですか。

—— その意見と真つ向なのですからけれども、ある程度閉鎖的になってしまうのは仕方ないことではないかな、と思います。利権や技術の関係だと、お金をかけて技術を開発して、それを全部透明にしてしまつて、外国がそれで新しいものを作っちゃつたらどうするんだ、という話になってしまいますから。ある程度閉鎖的で内々でやらないといけない部分はあるんじゃないかなと思います。

—— ①に関しては、高度な技術なため理解できない人たちが多く、閉鎖的なイメージと

なっているだけ、だと思います。

—— 同じですね。一般的な人にとって、触れる機会が少ないから。

—— 閉鎖的だということ表現したいために「ムラ」という表現をした人がいるのだと思います。

市民にとって、原子力に対して何なのっていうのを問い合わせるような分かりやすい窓口がないように感じるので、それも閉鎖的と。

—— 「高度な技術のため理解できない人が多い」というご意見に補足なのですが、知る機会が少ない、教育の機会が原子力については少なすぎるから、閉鎖的なイメージを持たれがちじゃないかなと思って、付け加えさせてください。

(サブ F) ①については、もうないですか。

では、次は②〔産・官・学の利益団体〕、あるいは〔利権が多そう〕、それから、原子力立地の行政がメリットを受けているのではないか、に関するご意見がありましたら。

(F) では、また私から。利益団体というのは、利益を生むものに対して群がり、生産性と利益を追求するあまり、不利益なものは隠して排除している団体と見えます。また、交付金などがたくさん落ちるので、お金が絡んでいるというイメージがあります。

—— 正直、産官学でやるときに、国がお金を出して研究させるのは仕方がないと思うのですが、どうも最近、自分の主観なのですが、原発で事故が起こった後のことを研究している人があまりいなかったから、こんなにもめているのではないかなと思います。

—— ②の意見には No で、巨大産業には利益が絡むのだから、他のところと同じでしょうという意見です。

(サブ F) どちらかといえば、当たり前でしょうということですか？

—— 当たり前、普通でしょうという意見です。

—— 私は、利権が不透明だから、不透明な利権が動くという点ではそういうふうに言われるだろうと思います。

—— 原子カムラという言葉が使われる中に悪いイメージがあって、その悪いイメージと

というのが、利益のために推進する人たちというニュアンスを含んでいるように感じます。

(サブ F) もう②はないですか。

—— 同じなのですが、結局業界の中でクローズしているというか、収束しているように見えるから。

—— それ以外のところに利益が上がっているように見えないと。

—— 見えないような気がします。電力会社とかだけなので。

(サブ F) ②は他によろしいですか。

では、次に③〔専門家の集まり〕、あるいは〔研究者と技術者〕などのご意見があります。

(F) ③に関しては、私も専門家の集団だと思うのですが、ただ、被ばくについてとか、まさか事故が起こるとは思っていなかったと思うので、事故が起こった後の対応については、生命を危険にさらしてしまったことについての専門家はいなかったかなという気がします。推進する側の専門家はいても、何かあったときのためのリスクマネジメントをするほうの専門家は不在だったような気がします。

—— よく分からない集団というイメージがあると思うので、よく分からない、つまり専門家の集団だろうという意見です。

—— 同じような意見なのですが、それでも、「ムラ」という集団をイメージする言葉から、一定の分野の専門家を指すということで、ムラが専門家の集団と言われるのは、

—— 当然のことだと。

—— 当然というか、賛成というか、納得というか。

—— そうですよ。これは価値観の問題ではなくて事実の問題ですから。

(サブ F) では、次の方。

—— 私は③には反対というか、専門家が集まっただけではムラと呼ばれないのではないかと考えています。他の業界にも専門家がたくさんいて、私たちの分からないこともたく

さんあるのに、そこはムラと呼ばれず原子力だけがムラと呼ばれるのは、別に専門家だから、という理由ではないのだろうなど。

(サブ F) 他に③はないですか。よろしいですか。

では、④〔ムラとムラの外との乖離が大〕という付箋に対してご意見がありましたら。

(F) ムラとムラ以外のギャップが大きすぎる。安心・安全を神話として信奉していたが、現実はそうでなかったことへの対応が悪く、ギャップや乖離が大きいということに鈍感ではないか、ということを書かせていただきました。

—— 一般市民と分けるためにこの言葉が使われているのではないかと思うので、乖離というのは当てはまると思います。

—— ちょっと反対の、屁理屈なのですが、ムラの境界が明確ではないので、ムラを中心とムラから遠く離れたコミュニティの間では確かに乖離が大きいと思うのだけれども、境界付近ではそれほどギャップが大きいとは言い切れないのではないかなど。部分的反対意見なのですけど。

—— なるほど。ムラびとは登録されるんだ、とかいいますね。

—— でも、どこまでがムラびとか、というのが明確じゃないと思うのですね。

—— その人が入りたくて、受け入れられたときじゃないでしょうか。

(サブ F) 他に④に対するご意見はありますか。

—— これは③に対するコメントになるかもしれないのですが。原子力に関する情報というのは、専門家が言うのではなくて、専門家が言ったことをマスコミがまとめて、市民に公開している、昔はそういう流れだったと思うのですよ。今はそんなことはないと思うのですけど。そういうことがあったときに、どうしても齟齬が起きるといえるか、どうしてもマスコミは分かりやすく分かりやすく、情報を簡略化していくので、それが乖離を深めた原因なのではないかと思います。

—— どこまで安全ですか、という問いに対する答えはないですね。そうすると、マスコミにとっては、「安全ではない」ということになってしまう、ということがありましたね。前提が不明確なときに、「答えを早くくれ」というような風潮が、それを生んだかなという

感じはします。

(サブ F) では最後に、⑤ [原子力発電を推進する側の人たち] の集まりなのではないか、という付箋に対して、ご意見がありましたら。

—— 私は当然だと思って、YES と書きました。

—— 私は No です。というのは、推進する理由は様々だと思うので、推進する側の人たちを皆ムラと言ってしまうのは少し違うのではないかという点で。

—— 私も同じ意見なのですが、ただ、一般の人から見ると、推進側だとやはりムラの一員という扱いになってしまうのではないか、という気がします。

—— ああ、ムラびとの前提ですね。反対派は絶対にムラびとは呼ばれないと。

—— 反対派に対する推進派、という意味で使われていると思います。

(F) 反対派に対する推進派？

—— そういう意味で使われることもあると思うので。いろいろな使われ方があると思うので。

(F) 私は、前の方と同じで YES ということで、YES と書いてもよかったのですが、原子力推進だと思います。

—— これはひとつの定義ですからね。

(サブ F) いや、そうなのですが、なぜそう思うか、ということを書いていただきたいのです。

今皆様のご意見を聞いて、ここが分からないとか、あるいは皆さんの意見を聞いて新たに何かご意見があったらお聞きしたいと思います。いかがですか。

(総合 F) 皆さん、あと 5 分です。

(F) ⑤について、私は YES ということであったのですが、どうしてそう思うかと言われたので、書いてみました。

原子力を推進して利益を生んでいる団体が原子カムラというイメージだということ。私としては、自然エネルギーや海洋エネルギー、太陽光発電などの再生可能エネルギーを抽選にしてみたり、とても狭く狭く障壁を作っているという団体。再生可能エネルギーを真っ向から壊そうとしている団体としてのイメージが私にはあります。

—— なるほど。

(F) なかなか（再生可能エネルギーが）進まないですね。

(サブ F) ありがとうございます。どうでしょうか、皆さんの思いを聞いて、何か質問とか、あるいは新たにこう思うというご意見がありましたら、追加でお願いいたします。

(F) 何かありませんか。そちらの方がなかなか意見が出ていないようですが、この5つの中になかったのでしょうか？

—— いや、理由と聞かれると書けないなと思って。自分が普段使っている言葉ではないし。原子カムラとはこうです、と言われると、そうだね、みたいな。自分が普段使っている言葉なら、だからこう思う、というのがあるのですけど。

イメージとかは答えられるのだけど、どうしてそう思うのかと言われると、どうしてそう思うのでしょうか、となってしまう。書いていくと、だんだん分からなくなってきてしまう。

(F) 書かなくても、何か言うことがあったら言ってくださったら、サブファシリテーターの方がメモしてくださると思うのですが。

(サブ F) 今までそのことに対してあまり考えたことがなかったということですか？

—— そうですね。原子カムラについては普段全然考えたこともなかったし。言われるほどそんなにその言葉を耳にした記憶もないし。

—— そうですか？ こういうことを話すと、原子力発電所の構造を知りたいと思わないですか？

—— 原子力発電所の構造ですか？ 全然そうは思いません。

—— 専門家って何をしているの？ とか。何人ぐらいいらっしゃるの？ とか。

—— 「原子カムラとはなんだろうか」と言われても。今回は、ここまでを原子カムラと
考えて話しましょう、と言われれば言えるかもしれないですけど。書いていくと、どんど
ん分からなくなってしまうのです。

—— 考えたことがあるかないか、関心があるかないか、という部分が大事かもしれませ
んね。

—— 原子カムラの境界がどの辺にあるか、ということ考えたことがあるか。ムラとい
うものは何なんだろうということ考えたことがあるか、ないかによっても違ってくるの
かな。

—— 原子カムラという言葉は初めて聞いた方もいらっしゃるということで、その時点で
原子力という言葉に対しての格差があるということが、この原子カムラという言葉を考え
る上で大事なポイントなのかな、と思います。

(サブ F) 格差がある。

—— 知っている、知らないというところから。知っているけど、よく分からないとか。

—— 私が住んでいるところは原子力の事故の後にホットスポットと言われていて、かな
り勉強はしたほうだと思いますけど。

(総合 F) かなり盛り上がっているのですが、どういうことが盛り上がっているか、全体
共有でぜひお話いただければと思います。

それで、各班のできあがった皆さんのご意見を、前のボードに貼っていただければと思
います。よろしくお願いします。

—— 私がイメージしていた専門家という方と、今日いらした方が全然違うのですよ。

—— どういう意味ですか？

—— こんな人たちが専門家なんだ、というのが、今日分かったことの中で一番大きいで
すね。

—— 今まではどういうイメージだったのですか？

—— テレビで出てくるような人。

—— 大学の先生とか？

—— そうです。事故の後に解説で出てきたような人たちばかりの集まりかなと思ったのですが、いろいろな方がいて。

(総合 F) 話し合いの途中だと思うのですが、一体どういう話になったのかということ、ぜひ全体で共有させていただきたいと思います。それぞれのグループの模造紙を、前に貼っていただければと思います。

(サブ F) では、それを書きましょう。「専門家のイメージが違った」ということですか？

(F) いや、でもそちらの方の意見だけをここで拾ってしまうと、他の意見は消しているのに、おかしいですよ。

(サブ F) いや、いいんですよ。全体の意見を聞いて、どうだったかということを書いているのですから。

—— 原子力技術者ということでしょうね。背広着て、ひげをはやして、頭が剥げていて、偉そうで。

—— そういうイメージなのですか？

—— 研究者の方が原子力の専門家という意味ですか？

—— そうです。

—— でも、実際に来てみたら、いろいろな人がいたと。

—— あまりにもイメージからかけ離れた人たちがいたということですね。

(F) 最後に、何かご意見はありませんか。

—— 今聞いていて思ったのですが、自分が住んでいるところがホットスポットになっ

たりするということ言えば、割と原子カムの境界は日常生活に近かったのではないか、
と思うのですよ。今までずっと遠くにあると思っていた境界が、実は割と身近なものだっ
たということが、今回の事故で分かったと。

(サブ F) ファシリテーターさんには、これを発表してもらいます。

<終了>